

2026 年 9 月 1 日

博報堂「Humanity Lab」、感覚研究と生活者発想で アイデアを生み出す体験型ワークショッププログラム 「感覚発想 Workshop」提供開始

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）のプロジェクトチーム「Humanity Lab」は、人間の身体性や感覚特性に関する「感覚研究」と、博報堂独自の「生活者発想」を掛け合わせてアイデアを生み出す体験型ワークショッププログラム「感覚発想 Workshop」の提供を開始いたしましたのでお知らせします。



「Humanity Lab」は、「感覚が、生活者発想を進化させる」を信念に、ひとが本来持つあらゆる感覚や感情を活用し、生活者に豊かな体験を創出しています。これまでに、東京大学大学院情報理工学系研究科の鳴海拓志教授と共同で、「ビールのおいしさを増幅させる音楽」や人間の感覚特性を活用した発想ヒント集「Humanity TIPS」、心豊かな触り心地を生み出す「HUMAN TEXTURE」、発想がひらめくサウンド「HASSO SOUND」等を展開してきました。

この度提供を開始する「感覚発想 Workshop」は、商品のスペックや市場ニーズだけに頼らず、人の身体性・感覚を起点として生活者の深いインサイトを掴み、新しいアイデアを生み出す体験型ワークショッププログラムです。

■「感覚発想 Workshop」の3つの特徴

1. 感覚研究データ「Humanity TIPS」の活用

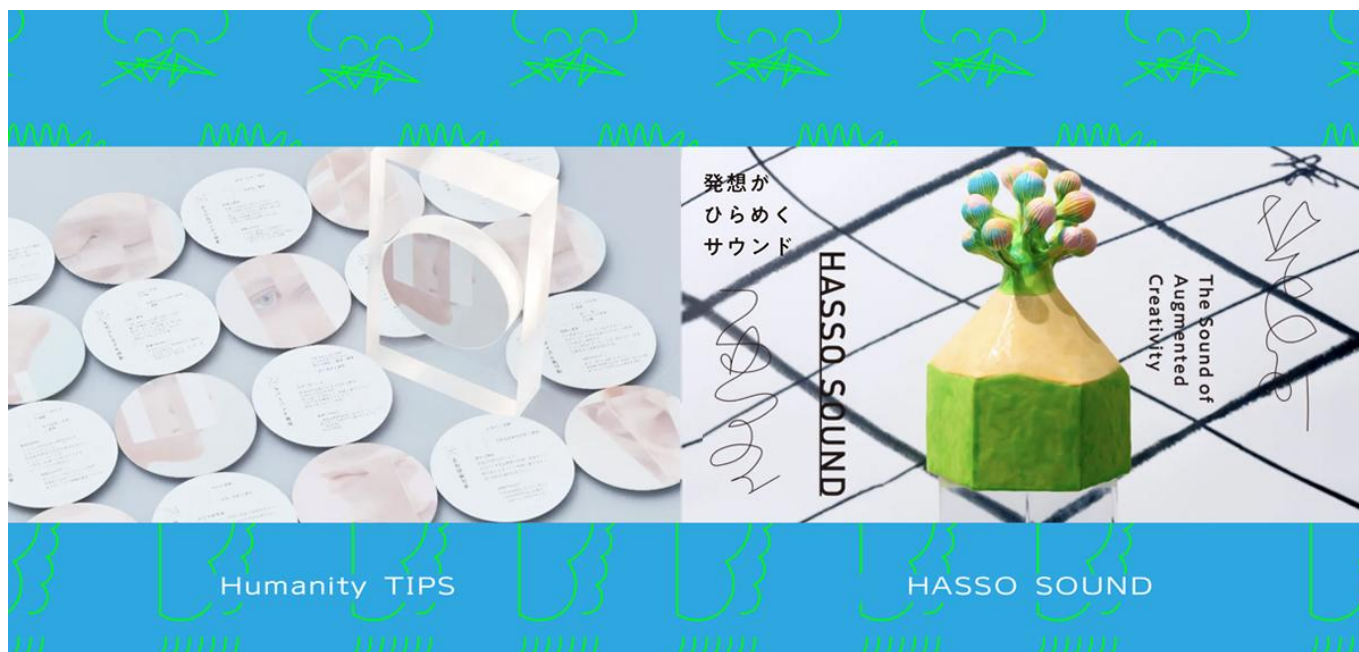
「温冷感プライミング」「触覚プライミング」「プルースト効果」など、学術研究に基づく人間の感覚特性をカード化した発想ヒント集「Humanity TIPS」を使用。論理思考だけでは出てこない新たな切り口や視点を注入します。

2. 発想を加速させる音体験「HASSO SOUND」の導入

東京大学大学院の鳴海拓志准教授と共同開発した、聴覚から創造性を刺激するサウンド「HASSO SOUND」を活用。脳のミラーニューロン特性に着目した筆記音などを取り入れ、発散を広げる「発散 SOUND」と、集中を整える「集中 SOUND」により、ワークショップ中のアイディエーションを科学的にサポートします。

3. クロスモーダル・多感覚を活用した体感型ワーク

五感を研ぎ澄ます仕掛けを多数用意。スマートフォンや PC の画面を閉じ、自分自身の身体感覚に集中することで、思考のパラダイムシフトをサポートします。



■ワークショップの基本プロセス

- ・ INPUT：生活者発想における「感覚」の可能性についてのインプット
- ・ SENSORY EXPERIENCE：五感を研ぎ澄まし、自らの感覚に集中する体験ワーク
- ・ SENSORY INSIGHTS：「Humanity TIPS」を用いた、感覚特性のインプット・ヒント探索
- ・ IDEATION：「HASSO SOUND」等を BGM に活用した、「感覚研究×生活者発想」によるアイディエーション



■本プログラムの活用例

- ・商品・サービス開発の新たな視点や切り口を得る場として
- ・チームの発想力やクリエイティビティを鍛える研修として
- ・博報堂の「生活者発想」の一端を体感し、学べる、実践的なプログラムとして

■ご参考：先行検証結果

博報堂の新入社員研修やグループ会社合同研修にて本プログラムを先行導入したところ、受講者の満足度は98%（n=105）と非常に高く、目的達成を実感する声が多数集まりました。

<参加者からの声（抜粋）>

- ・「実際に感覚を使って色々なワークを行うことで、感覚が自身に与える影響を実感した。デジタル中心の世の中だからこそ、感覚というものを大切にしていくことの重要性を感じた。」
- ・「意識的に五感で感じるという時間を設けられたのが、切り替えにもなってよかった。科学的根拠を先に説明してもらえたことで、実体験との紐づけもしやすかった。」
- ・「自分の感覚を起点に発想することで、これまでの発想が制約に縛られていたことに気づけた。」
- ・「デジタル画面ばかりに頼りがちな現代において、身体性の重要性を体感できた。AIには代替できない人間ならではのアプローチだと思う。」
- ・「感覚という無意識の部分にアプローチすることで、生活者の深いインサイトを突けるのだと実感した。」



博報堂は今後も、生活者発想を基盤に幅広い分野での研究やサービス開発に取り組むことで、より良い生活のための提案を行ってまいります。

■Humanity Lab（ヒューマニティーラボ）

「感覚が、生活者発想を進化させる」を信念に、ひとが本来持つあらゆる感覚や感情を活用し、生活者に豊かな体験を創出するための研究開発プロジェクトです。「感覚研究」と「生活者発想」をかけ合わせ、クリエ

イティブ×テクノロジー×サイエンスで「感覚」にアプローチし、生活者理解と生活者体験創造を深化・進化。さらに、研究から得た知見を活用し、生活者が心豊かになる商品開発、体験創出等、企業に向けたソリューション開発に取り組んでいます。

<https://humanity-lab.com/>

■Humanity TIPS | 人間の感覚特性を活用した発想ヒント集

「Humanity TIPS」は、人間が本来もつ感覚・身体・感情を活用し、ひとの可能性を多角的に考えていくために開発されました。視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚・認知・感情・行動の観点からなる 50TIPS を、発想しやすいカード形式で提供し、新たな発想をサポートします。人間の普遍的な感覚特性を活用したアイデアは、新商品開発や新規事業創造において「新たな体験価値の創出」に期待できます。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/107096/>

■HASSO SOUND | 発想がひらめくサウンド

ミラーニューロンの特性に着目し、筆記音を取り入れることで、書く行為のイメージを想起しやすくすることを目指しました。さらに、創造的思考理論における、発散的思考と収束的思考の2つの側面に着目し、発散を広げる「Unleash Thinking -発散 SOUND-」集中を整える「Focus Thinking -集中 SOUND-」そして、発散と集中を時系列で体験できる「Hasso Life -発散 & 集中 SOUND-」の3曲を制作しました。

<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/120118/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 戸田・和田 koho.mail@hakuhodo.co.jp